

【授業概要(中学校・高等学校教諭専修免許状)】(第2期)

1. 教育課程特講Ⅳ

本講義では、Society 5.0 時代における教育のあり方を踏まえ、学校におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性と重要性を理解する。また、具体的な DX 戦略の策定プロセス、導入における課題と解決策、そして未来の教育がどのように変革されるかについて考察する。そのうえで、学校 DX がもたらす変革であるより質の高い教育と持続可能な未来を目指し、教育と学校カリキュラムの抜本的な改革について考えを深めていく。

2. 教育原理特講Ⅳ

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日の教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

3. 教育方法特講Ⅱ～Ⅳ

多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。その際に、学習教材を選定・開発するに当たって、教育効果を高めるために必要な考え方や教材の内容によってはプライバシーの保護等も必要なため、それらの考え方を学び、このような映像教材の開発やそれらを活用した教育方法について考えを深める。

加えて、近年急速に発展している技術の生成 AI と教師の役割に着目し、個別学習における教育方法を追究していく。

4. 教育情報特講Ⅳ

21世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業でのICT活用など、教師はどう対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

その中で、新たな学びに重要なと考えられる「教育リソース」について追究すると共に、教育リソースに必要不可欠なデジタルアーカイブについて考えを深めていく。

5. 教材開発特講Ⅳ

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネットやメタバース等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

6. 教育実践特講Ⅳ

多様化する社会からの期待に応えるために、様々な現代的教育課題を取り上げ、その実践等を学び、中・高等学校における教育実践についてさらに深く追究する。中・高等学校教育の場が求める教育者として、教職の基礎及び教科等に関する専門的知識に基づく実践的指導力を学修し身につけ、教育者の専門職としての自覚とその教育を効果的に進めるための理論と実践力をさらに深く追究する。

加えて近年課題となっている情報通信技術(ICT)を活用した学びの方法、特に生成 AI の技術についても触れ、子どもの発達段階に応じた方法を追究し、その実践力の向上を図る。

7. 教育経営特講Ⅳ

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で取り組まれている「マネジメント」を取り上げ、この3つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探求していく。こうした学びをとおして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見いたし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い合わせ直すこととする。

8. 遠隔教育特講Ⅳ

教育DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育DXの目的は、「個別最適な学び」という“新たな学び”的実現である。20世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育DX時代における遠隔教育といふ“新たな学び”的在り方について考える。